

# 雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨  
TEL025-552-9901



(2070)No.20 発行 2019年5月23日



## 山行記

★山域・山名=新潟/三条市・机山 222m

★山行日=2019年5月14日(火)

★天候=曇り

★山行者=宮川(報告)、他1名

▼コースタイム=登山口 14:22・・・廃道標識 14:27・・・14:53 山頂 15:05・・・15:25 登山口

▼連休の喧騒が去ったので秘湯の宿に行こうと計画。宿の裏山の登山案内があり、標高差100mとの事。「全く登っていな私でも…」と計画しました。

▼予定より早く到着し、翌朝の予定を変えて登る事にしました。守門川のそばにある宿の庭から車道に上って登山口へ。いきなり直登。杭に張られたロープを頼りに登る。5分ほどで廃道。左への矢印の標識。岩が積み重なったような細い道を過ぎてやや平坦な場所に出る。その後は岩が積み重なった急登になり、杭が無くなりロープが地面に置かれている。展望は全く無く、道が良く分からず、所々に置かれているロープを頼りに進む。

▼イワカガミの小さな群落が2ヶ所ほどあるところを過ぎ、テーブル、ハンモックが設置され

山頂でくつろぐ



山頂直下を登る



山頂から粟ヶ岳を見る

ている狭い山頂に出る。眼前に雪の残る粟ヶ岳が大きく見える。守門岳は良く見えない。廻りにウラジロヨウラクやツツジの木があるが開花は未だ。雨になりそうなので早々に下山。登山口に着くころ霧雨になる。《報告・写真 by 宮川》

# 山行記

★山域・山名＝上越市・青田南葉山 949m

★山行日＝2019年5月18日（土）

★天候＝晴れ

★山行者＝渡辺光（報告）、太田、他1名

▼木落とし坂コースの登山道へ入るやいなや山菜が目に入る。少しいただき、「道草をしていると山頂までいけないよ・・・」と登りに専念する。5合目辺りまでの急坂はきつく、水場で一息つく。7合目から上部はほとんど雪で、目印を探しながら登る。

▼目印が見当たらなくなったので、「この辺で昼食を摂ってから下山しよう・・・」と話していると、下ってくる人がいて「自分たちの足跡があるから・・・」とアドバイスをくれた。自分たち用に目印を付けながら少し登ると、また古い目印が見えだし、前方に山頂が見えてきたので山頂に登ることにした。

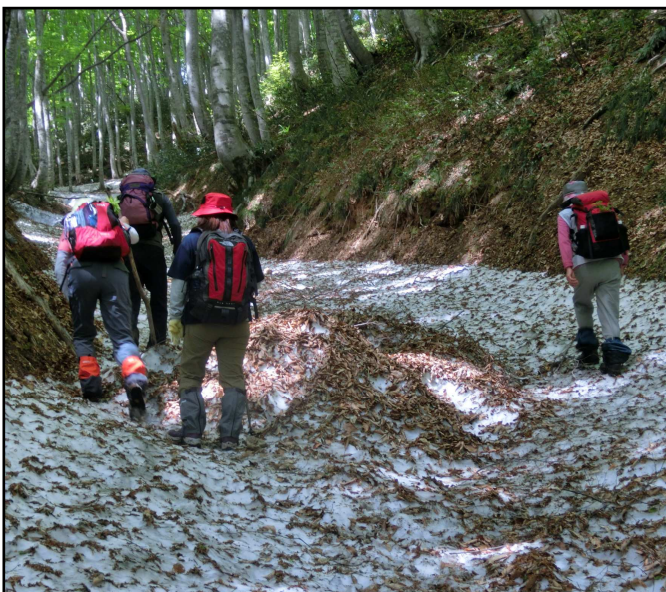
▼山頂は丸々とした雪の山。木々に囲まれて景色の良くない山頂しか知らないなので、これが山頂かと思いながら丸くなった雪の山に上がっ

て妙高山、火打山、米山、志賀高原方面の山々を眺めながら、時季によっては眺めの良い山なんだと満足する。

▼山並みを楽しみながら昼食を摂りたいところだったが、風が冷たいので体が冷えないうちに少し戻って、風当たりの少ないところで昼食を摂った。

▼再び目印を探しながら下山。7合目を過ぎると登山道の真ん中は雪解け水で小さな川になり、滑りやすくなって慎重に下りる。登山口近くになると再び山菜が目がいく。少し楽しんで駐車場に到着。食堂で喉を潤してから帰路につく。

▼花はまだ少なく、登山口近くにシラネアオイ、イワカガミ、ヤマザクラが少しあったくらいでした。  
《報告 by 渡辺光》



★5月13日、戸倉山での写真です。写真右は山頂にて、左は戸倉山稜線鞍部から屋敷跡へ直行するルートの途中。

《写真 by 渡辺久》